

2012/10/30
第 42 号
(24 年 10 月号)

しののめ



長野県総合教育センター通信

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

情報・産業教育部長あいさつ

小林 晴夫

今年度、専門高校生が参加する全国大会の長野県開催が相次いでいます。全国から農業高校生が集う日本学校農業クラブ全国大会（10月24日）、工業高校生の高校生ものづくりコンテスト全国大会（11月17日）、そして、現役の高校生も参加する長野技能五輪全国大会（10月26日）や全国障害者技能競技大会（10月20日）通称アビリンピックです。

「学校から社会・職業への移行」や「若者の社会的・職業的自立」が課題としてあげられている中で、農業を学ぶ生徒、ものづくりや技能向上に取り組む青少年の交流や熱い戦いが繰り広げられます。先日技能五輪を見学させていただき、一人一人の真剣なまなざしや無駄のない動きや技、そして選手はもとより関係者の熱気がひしひしと伝わってきました。



現在小中学校や高校においてキャリア教育が推進されています。こうした大会等を通じ、様々なものづくりに象徴される工業や農業・商業・被服・福祉・調理など専門高校を含む職業教育が再評価され、地域産業を担う人材が育ち、ひいては地域社会に貢献し、地域の活性化に繋がればと期待をしています。

センターにおける産業教育関係事業は、教員研修の他に先端技術研修(所外で5日間)に33名、専門教科における教材開発研究に20名、長期研修に2名の先生方が、日々変化する産業界に対応すべき研修を行っています。更に、高等学校の生徒を対象とする生徒実習では、32校2,547名が参加の予定です。参加者は専門高校生が9割ですが、最近では普通科生徒が増加傾向にあり、センターの施設設備を活用した普通科におけるキャリア教育推進の役割も担っています。また、県下の専門高校や総合学科で学ぶ生徒による生徒研究発表会を12月15日(土)に、当センターを会場に行います。学科や地域連携など各校の特色を活かした学習成果をステージ・作品展示・販売実習等で発表します。この発表会を通じて情報収集・活用力をはじめプレゼンテーション力、課題解決力、コミュニケーション力、人間関係調整力など社会人として求められる力が育てられています。この発表会は一般公開をしておりますので、大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。中学生とその保護者および先生方、進路選択の参考に専門高校の取組をご理解いただければ幸いです。

センターからのお知らせ

「センター研究発表会」参加者募集

1年間の総合教育センターの研究成果を発表します。詳細はセンターHPに掲載します。

◇期 日 平成25年2月22日(金)

◇会 場 長野県総合教育センター

◇内 容 ・講演「伝わる話し方、言葉と考える力」

講師 風見 雅章(NHK日本語センター部長 NHK エグゼクティブアナウンサー)

・教科教育、教職教育、生徒指導、特別支援教育、情報産業教育の研究成果発表

◇申 込 センターHPから申込書式をダウンロードし、郵送又はFaxでお申し込みください。研修講座の追加募集の要領でもお申し込みいただけます。

◇問い合わせ 総合教育センター企画調査部 0263-53-8802 (担当：吉越)

今からでも間に合う研修講座(11月・12月開講の講座)

平成24年度 長野県総合教育センター 追加募集講座一覧表					平成24年10月31日 現在
講座番号	講座名	対象	開始日～終了日	募集人数	講座PR
1 教科等研修					
3-1-01-25	授業を通して考える中高連携国語	中高	11月29日～11月30日	11	中学では？高校では？互いの学習を知り、授業作りの手がかりをつかみましょう。
3-1-03-30	大学進学と高校数学教育	高特	11月30日	15	高等学校の数学の学力を高める指導について学び合います。
3-1-04-36	授業に活かす中学校化学実験	小中特	11月22日	6	化学実験の工夫例と中学校における、より具体的な授業実践が学べます。
3-1-05-24	高校英語指導力養成講座	高	11月12日～11月13日	8	リーディング指導からコミュニケーション力育成につながる指導を考える講座です。
3-1-09-05	衣住生活指導のいろは	小中特	11月22日	1	衣住生活に関する指導内容を確認します。魅力的な教材について考え合います。
3-1-15-22	実践！総合的な学習の時間	小中高特	11月13日	23	講義や実践発表をもとに、自校の全体計画等について検討し合います。
2 教育課題別研修					
3-2-10-21	カリキュラム・マネジメント	小中	11月29日	26	講義・実践発表・演習を組み合わせ、基本と役割を学びます。研究主任におすすめです。
3-2-10-22	作問研修(中学校国語)	中特	11月20日	6	達人・富山先生の講義や演習を通して国語科で付きたい力と作問について学びましょう。
3 情報教育研修					
3-3-04-24	CSSを活用した学校ホームページ	小中高特	11月15日	3	学校ホームページ作成の経験者を対象に、ホームページ作成上の留意事項について学びます。
4 産業教育研修					
3-4-11-21	組換え実験から学ぶ食の安全	小中高特	11月15日～11月16日	1	DNAを理解するためにやさしい実験の手法と食の安全についての基礎的な知識技術を学びます。
3-4-12-21	マイコン制御	中高特	12月11日	6	マイコン学習経験者を対象に、温度計測を題材にしたPICマイコンの制御について学びます。
5 生徒指導研修					
3-5-02-04	実践！指導に生かす事例研究 高等学校	高	11月22日	1	困っている生徒指導の課題について、解決のための方策を仲間と検討します。
6 特別支援教育研修					
3-6-02-11	生きる力を高める生活単元学習	小中	11月22日	3	生活単元学習について、実践発表やグループ協議を通して具体的に学び合います。
【特別講座】センター研究発表会					
5-1-01-01	センター研究発表会	幼小中高特	2月22日		大会テーマ 「伸ばそう信州の教育～学校の教育課題に対応する教員の組織力・指導力向上のために～」

※追加募集は10日前まで受け付けています。センターHPで確認して電子申請で申し込みをお願いします。

長野県総合教育センター 評議員会開催

平成24年10月2日(火)
午後2時～4時
総合教育センター第1研修室

長野県総合教育センター評議員会が当センターにて開催され、12名の評議員の皆さんにご出席いただきました。

評議員会に先立ち、当日開講されていた3つの研修講座と、長野工業高校の生徒実習の様子を参観していただきました。

評議員会では、センター事業や希望研修受講後のアンケートの集計結果、教員の資質向上・教育制度あり方検討会議研修専門部会等についての説明を行いました。

評議員の皆様から研修事業を始めとする当センターの役割について多くのご意見・ご要望をいただき、活発な意見交換が行われました。



当日ちよだいした貴重なご意見・ご要望を生かせるよう、さらに検討を進めて参ります。

詳しい内容は、センターHPをご覧ください。

◇評議員会で出されたおもな意見・要望

- ・研修講座の受講決定者数を増やすために、今以上にニーズに合わせた工夫をするべきではないか。
- ・高等学校における特別支援教育や就職支援などの研修講座を充実させてほしい。
- ・教職員として最低限必要なものは何かを常に更新しながら研修内容に盛り込んでいく必要がある。

「リスクマネジメント研修」のご案内

長野県総合教育センター・日本女子大学 共催
(平成 24 年度 独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

本研修は、若手教員の皆さんが、保護者・地域住民と信頼関係を維持する上で不可欠な「危機管理」能力の向上と定着を図っていくことを目的としています。

大学教員、弁護士が講座を担当し、「学校事故」、「いじめ」、「体罰」から「個人情報保護」に至るまで、危機管理の知識が不可欠な場面を多岐にわたって扱います。裁判例等を教材としつつ、ケーススタディ、ワークショップ的技法を用いて、日々の教育活動に役立つ実践的な研修を行う予定です。是非、ご参加ください。

1 期 日 平成 25 年 1 月 15 日 (火)・16 日 (水) ※どちらか 1 日だけでも参加可能です。

2 対 象 初任者～教職経験 10 年程度の教員

3 会 場 長野県総合教育センター

4 講座のねらい

【キーワード】リスクマネジメント (危機管理)、リーガルマインド、教育訴訟

①法令、裁判例を基に、学校における危機管理の在り方について理解を深める。

②ケーススタディ、ワークショップを通じて、危機管理能力、リーガルマインドの定着と向上を図る。

5 講座の特徴 ICT を活用した個別学習 + ワークショップ型対面学習

6 日程・内容 (予定)

日程	時間	研修内容	講師
15 日 (火) (1 日目)	午前	いじめ	黒川 雅子 (東京女学館大学・准教授)
	午後①	情報管理	川 義郎 (東京ブライト法律事務所・弁護士)
	午後②	学校事故 I	坂田 仰 (日本女子大学・教授)
16 日 (水) (2 日目)	午前	教員の非違行為と懲戒処分	山田 知代 (東京女学館大学・非常勤講師)
	午後①	体罰	山口 卓男 (筑波アカデミア法律事務所・弁護士)
	午後②	学校事故 II	坂田 仰 (日本女子大学・教授)

※本研修を受講するには、研修当日までに、事前学習用サイト (<https://scp.jwu.ac.jp/>) にアクセスし、VOD 講義 (1 講義 20 分程度) を視聴することが必要です。(10 月 1 日から視聴できる予定です。)

7 申込方法

センターホームページから申込書式をダウンロードし、郵送で申し込んでください。(9/13～11/30)

8 その他

受講は無料です。参加については、出張扱いとし、各校の旅費予算から支出をお願いします。

長野県総合教育センター 企画調査部
部長 高野 正延 担当 吉越 秀之
TEL 0263-53-8802
FAX 0263-51-1290
E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

研修講座探訪

◇教科教育部 家庭科研修講座 「子どもをはぐくむ食卓」◇

10月18日(木)実施

10月18日に「子どもをはぐくむ食卓」講座が行われました。

食育では、栄養の摂り方、食品衛生の管理、伝統的食文化の伝承など広範囲にわたって子どもたちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送ることができる能力を身に付けることが求められています。子どもの発達段階や食生活の実態に根ざし、学校においても給食指導や家庭科、その他の教科領域それぞれの有機的連携による一層効果的な食育推進が期待されています。

本講座では、現代の食を取り巻く問題や育てたい子どもの力、食育を行う様々な視点を明確にした上で、テレビやカルチャーセンターでもご活躍の料理研究家、横山タカ子先生をお迎えして、地域の食材を使い食卓をしつらえる楽しさを体感しました。

メニュー

～ 地元の食材で、子どもと地域の恵みをいただく ～

大豆ごはん（三分づき米） 味噌汁

大根と豚の煮物 キャベツのコールスロー

白和え りんご甘酒デザート



《受講者の感想より》

- 本物の食材を知り食材や物事の本質がわかる。自分の手、口、体を使ったものを知り感じていく食育の活動を実践していきたい。
- 信州の一汁三菜や真味是淡の本当の味わいを大切にできる、長野県の食材や伝統料理を誇りに思えるような子どもたちを育てていきたい。
- 調味料の大切さや和の「ひらがな食事」のよさ等既知のことではあったが、改めて重要性を再認識できた。食は人間形成の礎であることを子どもや家庭に伝えていきたい。
- 家族で食卓を囲むことは健康な身体づくり以外にも、心のゆとりや家族との繋がりにおいてもかけがえないことだと感じた。学校～家庭へ、家庭を巻き込んで活動できる充実した食育を目指したい。
- 自校の食育が、どの段階まで進んでいるのかという観点を持てた。学校での学ばせ方で、子どもが変わり家庭も変えていくことができるのだと思った。まずは学校で食育全体計画を作りたい。
- 地域に伝わる昔の知恵を、生産体験から学び、食べ物に愛情を感じて大切にいただく気持ちになることが素晴らしい。食べることは人間として幸せに生きていくために必要不可欠な生き方の学習だ。



食育の推進により目指そうとしている健全な心と身体、豊かな人間性の育成は、学校教育の目標とも一致するものです。全ての教員・学校栄養職員等が食育に対する共通理解を深め、家庭との連携のもと食教育推進の全体像を見つめていくことの重要性を確認しました。

受講者の先生方の「食を大切にする心を学校の子もたちに伝えていきたい」という思いが深まった秋の一日でした。

—— 研修講座を振り返って ——

教職教育部が9月に実施した教育課題別研修講座から振り返ります。

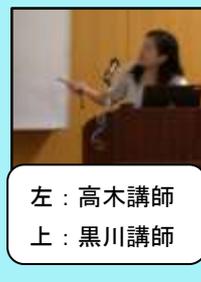
◇ 男女共同参画と学校組織マネジメント ～一人一人が力を発揮できる学校組織づくり～

9月6日(木)実施

9月6日に、長野県教育委員 高木蘭子氏及び東京女学館大学 黒川雅子 准教授を講師として、「男女共同参画と学校組織マネジメント」講座を実施しました。高木講師からは、学校現場を男女共同参画推進の視点で見直すことの意味について、教育委員と企業経営者の両方の立場から御講義いただきました。特に、「家事・育児」を支援する民間企業の取組や、中小企業から見た男女雇用機会均等法の成果と問題点等は、普段知る機会の少ない興味深い内容でした。黒川講師には、豊富な資料を駆使して、男女共同参画の定義と理念、男女共同参画社会を目指す背景とその阻害要因等の、基本となる部分を明解に御講義いただきました。その後のグループ協議では、「次世代を担う児童生徒を男女共同参画社会を担う構成員とするために実践可能な教育活動」、「受講者自身が、学校組織に対して男女共同参画の視点から何ができる」について意見交換を行い、自校の現状を見返す時間となりました。

◇受講者のアンケートから◇

- ・男女の性差を補い合い、支え合う教師の姿から、子ども達に伝えていける学校でありたいと思った。
- ・男女共同参画を進めるには、権利の主張だけでなく「すみません。ありがとう。お互い様」の気持ちが大切という講師の言葉が印象的であった。そんな言葉が言える職場づくりを日頃からしていきたい。



左：高木講師
上：黒川講師

校種、性別、年齢の枠を超えての受講

◇「学級担任の読書支援」

9月20日(木)・21日(金)実施

今年度は、二日間連続の講座とし、一日ずつ中心テーマを設けて実施しました。

20日は、「より豊かな読みを促す読書指導」をテーマに、読書会を取り上げました。午前中は、新学習指導要領から見た読書会の意義と実施上の留意点についての講義を行い、午後は、「読後話し合い形式」と「リテラチャー・サークル」の2種類の読書会の手法を体験しました。読書会では、読みを共有することでメンバーの読みに刺激を受け、新しい視点をもって何度も叙述に戻り、読み深められることを体験を通して理解できました。

21日は、「探究型学習」をテーマに、情報活用能力育成の指導の在り方を取り上げました。午前中は、「複数の情報源の確認」、「目的に合わせた正確なテキストの読解」の重要性に関する講義・演習と、各種の参考図書の特徴、授業への活かし方、基本的な使い方と指導の実際を学びました。午後は、帝京大学 鎌田宏和 准教授の御講義と演習により、探究型学習や情報活用能力が重要視されている背景と、探究的な学習のプロセスの中の「課題設定」の指導方法を体験を通して学ぶことができました。

◇受講者のアンケートから◇

- ・読書会では、個人の読みだけでは得られない視点や考え方を共有できた。自分で選書し、読みの課題(役割)に沿って目的を持った読書ができることが体験できた。
- ・内視化するために「書く」ことが言語化につながるというお話で、「書くこと」の重要性を改めて感じた。まずは自分のクラスより、調べ学習・スキル学習を始めたい。

百科事典を活用して
課題設定の下調べ中



鎌田講師